



病院の概要

- 病床数：696床
- 医師数（研修医を除く）：458名（うち臨床研修指導医数：117名）※29年4月現在
- 医科研修医数：1年目26名（うち協力病院で研修中11名）
2年目21名（うち協力病院で研修中9名）
- 1日平均外来患者数：1,816名（平成28年度実績）
- 1日平均入院患者数：591.9名（平成28年度実績）
- 専門医研修施設としての認定（基本領域学会に関して）：内科（教育病院）、小児科、皮膚科、外科（指定病院）、整形外科、産婦人科、眼科（基幹研修施設）、耳鼻咽喉科、泌尿器科（基幹教育施設）、脳神経外科（基幹施設）、放射線科（総合研修機関）、麻酔科、病理科（研修認定施設）、臨床検査科（準認定病院）、救急科、形成外科、リハビリ科、精神・神経科



研修プログラムの特徴

- ①パターン1 AWA すだちプログラム（定員28名）**：各研修医の将来のニーズに対応できるよう、充実した専門医研修につなげていくことが可能なプログラムです。協力病院は四国内のみならず全国に存在し、希望に応じた協力病院、研修科、研修期間を自由に選択することができます。
- ②パターン2 メディカルゾーン重点研修プログラム（定員3名）**：徳島県の医療拠点（総合メディカルゾーン）の中核である徳島大学病院と徳島県立中央病院を主軸とした新たな一体化研修で、両病院の機能分化を活かすことにより、充実した教育指導体制のもと、さらに幅広い豊富な症例を経験できるプログラムです。また地域研修や選択研修等では、総合メディカルゾーンの西部・南部センター病院群や徳島県内の臨床研修病院で研修をすることが可能です。
- ③パターン3 産婦人科研修プログラム（定員2名）**：将来産婦人科医を目指す研修医を対象に、産婦人科に特化して産婦人科医療の基本的事項をバランスよく研修することができます。もちろん、各分野の指導医のもとで専門的なレベルを含めた研修を行うことも可能なプログラムです。
- ④パターン4 小児研修プログラム（定員2名）**：小児科をはじめとする小児外科や小児泌尿器科、小児整形外科などの子どもの診療に携わりたいという研修医が対象のプログラムです。高度先進医療から一般小児科・小児救急、新生児医療などあらゆる子どもの問題を経験することが可能です。将来子どもの診療に携わりたい研修医には有意義なプログラムです。



平成30年度徳島大学病院プログラム説明会
（平成29年6月24日（土）14時～開催予定）



研修医教育講座
（月1回、各科専門医から直接指導）



英会話レッスン
（月2回、外部ネイティブ講師を招いて、日常会話、診療対応会話を勉強）

処遇

- 給与：約32万円/月（各種手当含む）
- 保険等：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、雇用保険あり、労災保険適用あり
- 宿舎：なし

プログラムの詳しい内容や応募方法についてはホームページをご確認ください。

徳島大学病院卒後臨床研修センター

〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50番地の1
 TEL：088-633-9359
 FAX：088-633-9358
 E-mail：bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
 URL：http://www.tokudai-sotsugo.jp/

先輩研修医からのメッセージ

Message

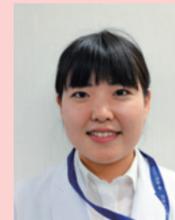


布村 俊幸 先生（平成28年度初期研修修了）

私は徳島出身、徳島大学卒のため、母校での初期研修を選択しました。徳島大学病院での研修を選択した理由は大きく分けて3点あります。

①オーダーメイドの研修が可能であること：研修医1人1人が自分の将来のために、作り上げていくローテーションとなっており、研修しながらの変更にも柔軟対応してもらえます。②県内だけでなく全国の協力病院での研修が可能であること：各病院の強みを活かして自分の学びたいこと、身につけたい診療能力・手技を習得することができます。③卒後臨床研修センターの先生たちによるサポートシステム：研修に関すること（インシデント・メンタルトラブルなど）はもちろん、3年目の移行の進路、そしてプライベート（結婚・妊娠・出産など）まで、応援・支援してくれます。その他、全診療科のバックアップの下、スキルアップセミナーやスキルスラボでの実習、多様なハンズオンが充実しています。

あなたはどのような医師になりたいですか？はっきりと将来を決めている人、将来に直結するようなローテーションを自分で作り上げて初期研修をしてみませんか？将来をはっきりと決めていない人、徳島大学病院だけでなく関連病院での初期研修では、あなたの目標となるような先生との出会いがあります。あなたの将来を応援してくれる先生が卒後臨床研修センターにはいます。ぜひ一度見学にいらしてください。



西山 美月（2年目研修医）

私は高知大学を卒業し、徳島大学病院の研修を選びました。学生の時に感じていたこのプログラムの魅力は、大学病院と市中病院の両方を経験できること、幅広い分野の先生方と知り合えること、自由度の高いことの3点でした。進む科が決まっているかにかかわらず、3年目以降入局を考えている方には特に、市中と大学の両方を経験できることは大きなメリットだと思います。研修が始まってから感じている魅力は、超音波など必要技術について高いレベルの指導が受けられること、県外の有名病院で研修できること、同期が多く研修医の居心地がいいことの3点です。研修が始まってから、「あの検査に自信を持てたら・・・」、「あの治療が見てみたいいな・・・」というような気持ちが出てくるのですが、この研修プログラムはまさにその気持ちに応えられるプログラムであると感じています。精神面についても、たくさんの同期がおり、研修担当の先生方との距離も近いので、非常にいい環境です。将来像がはっきり見えている方も、まだ迷っている方も、そのときの興味・感じていることを研修に反映しやすい徳島大学病院で研修してみませんか。一度見学に来ていただいて、この雰囲気を感じていただけたらと思います。

Q&A よくある質問に お答えします

Q ローテートの特徴を教えてください。

A それぞれの将来目標に沿ったオーダーメイド研修が可能です。進路希望変更にも柔軟に対応しています。基礎系に進む人、地域医療や総合診療医を目指す人、専門医を目指す人など様々な目標に応じて院内研修が可能です。院外研修も全国の協力病院と密に連携をとり充実した研修が可能です。4人の専任教員にローテートの回り方について随時相談できるので安心です。

Q 病院見学はどのようにしてアプローチすればよいのでしょうか？

A 徳島大学病院卒後臨床研修センターのHP（http://www.tokudai-sotsugo.jp/）内の病院見学のフォーマットから直接申し込むことが出来ます。また、この冊子に記載されている電話もしくはアドレスにお問い合わせ頂いても結構です。専任の医師が、病院見学のコーディネートを行ったり、研修医との交流の場を設けたりしてサポートさせていただきます。平成29年6月24日（土）には、全国の協力病院も参加する徳島大学病院プログラム説明会がありますので、是非参加してください。

Q 他の病院の研修医との交流の場はありますか？

A 毎年4月に徳島県医師会主催の「徳島県新人研修医歓迎のつどい」と、徳島県地域医療支援センター主催の「徳島GMラウンド」があり、徳島県内の研修医が参加しています。また、徳島大学病院でも、毎月開催しているスキルアップセミナーには徳島県内の研修医や学生も参加可能となっています。また、他病院からの研修医を積極的に受け入れており、平成28年度は日本医科大学付属病院、徳島県立中央病院、徳島市民病院、徳島県鳴門病院など27名の他病院の研修医が本院で研修を行いました。

Q 研修医ですが小さい子供がいます。大丈夫でしょうか？

A 院内保育園があり、研修医も子供を預けることが可能です。今までにも、研修をしながら子育てをした先輩女性研修医もいましたし、研修中に結婚する研修医もたくさんいます。

Q 他大学出身者はどのくらいいますか？

A 平成28年度と平成29年度採用の研修医では約3割が他大学出身者でした。研修医室がワンフロアで、オリエンテーションや研修医教育講座のほか、イベントなどが充実していますので、出身大学に関係なく皆さん仲良く研修生活を送っています。